

地域密着型金融の取組みの進捗状況

個別項目の計画の進捗状況

取組方針	具体的な取組み内容	進捗状況(2020年3月～2021年3月)
1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化		
(1)創業・新事業支援	・創業者に対して創業支援セミナーの実施等を行い、創業をサポートします。 ・総社市、総社商工会議所、総社吉備路商工会との連携により、創業スキームを確立し各種制度の有効な活用に努めます。 ・「きびしん地域振興支援制度」を活用し、将来性のある企業の発掘・育成に取り組めます。	・総社市、総社商工会議所、総社吉備路商工会の3者と連携協定を結び、ワンストップで創業支援が可能となる「総社移住・創業サポートセンター(S-スタ)」の開設準備を進めました。 ・日本政策金融公庫倉敷支店、岡山県信用保証協会と連携し協調融資を推進しました。 ・「きびしん地域振興支援制度【吉備の新風】」に対して、令和元年度27先の応募があり、有識者による選考審査を6月に実施し、14先へ助成金を交付しました。 ・令和2年度創業・新事業向け融資商品「つばさ」は、3件8百万円の販売実績となりました。
(2)経営改善支援	・事業支援室を中心として、本部と営業店が一体となった経営改善支援に注力します。 ・お取引先企業が抱える課題に対し、外部専門家、外部機関等と連携することで、幅広いソリューションの提案に取り組んでいます。	・事業支援室と営業店が支援先の改善計画や支援メニューを検討し、必要な経営支援を行うことで企業価値向上の提案に努めています。 ・外部専門家や専門機関等と連携した、ソリューション提案件数は721件となりました。
(3)事業再生	・事業支援室を中心として、本部と営業店が一体となった経営改善指導に注力します。 ・企業の課題解決支援策の一つとして、外部専門家や専門機関と連携した事業再生支援に取り組めます。	・事業支援室と営業店が支援先の財務内容や定性情報により改善計画を検討し、必要な再生支援を行うことで財務改善に努めています。 ・事業再生が必要な企業への相談・支援を強化し、外部専門家や専門機関と連携して健全化に向けた取組みを継続しています。
(4)情報提供機能の強化	・「税理士」、「社会保険労務士」、「行政書士」、「弁護士」による相談会を実施します。 ・県下信金合同開催の「岡山県しんきん合同ビジネス交流会」を活用した取引先企業のビジネスマッチング支援を図ります。 ・地域への情報発信として、情報誌「スマイルテラス」の発刊により、お取引先の事業所紹介を行います。	・事業者に対してはコロナ関連、個人の方へは資産運用・終活を中心に個別相談会を実施しました。 ・税理士による無料相談会を実施しました。 ・情報誌「スマイルテラス」において、お取引先13先を紹介し、地域の皆さんへ情報発信を行いました。 ・「岡山県しんきん合同ビジネス交流会」は中止となり、「しんきんフードEXPO2020」「ふるさととはっぴー市場」のオンラインフェアに参加しました。
2. 中小企業に適した資金供給手法の徹底		
	・最初に相談される金融機関を目指し、定性面を把握する「事業性評価」を活用した目利き力を発揮し、担保・保証に依存しない積極的な支援に取り組めます。 ・下記事業者向け融資商品を推進します。 ①企業活性化支援融資「飛躍」 ②企業創業支援融資「つばさ」「つばさワイド」 ③「ビジネスカードローン」 ④「専用当座貸越アグレッシブサポート」	・コロナ対策資金として、即日実行可能な融資商品(手形貸付)により、スピード感ある資金繰り支援を行いました。 ・下記事業者向け融資商品の利用実績 ①企業活性化支援融資「飛躍」14件9百万円 ②企業創業支援融資「つばさ」3件8百万円、「つばさワイド」0件 ③「ビジネスカードローン」1件7百万円 ④「専用当座貸越アグレッシブサポート」7件66百万円

3. 持続可能な地域経済への貢献	・総社市の人口増加策に貢献するため不動産情報の提供と住宅ローンの推進、また子育て支援としてのイベントを開催します。 ・相続、年金、経営等地域に役立つ各種相談会を開催します。また相談会の充実を図るため、相談に対応できる職員を育成します。 ・外部機関との連携やビジネスマッチングの開催等を通じて、人的資源の活用と情報ネットワークを利用した支援を行います。 ・アンケート調査の実施や「ご意見箱」の活用により、会員や利用者の方々のニーズにお応えできるよう適切な対応に努めます。	・総社市、総社商工会議所、総社吉備路商工会の3者と連携協定を結び、ワンストップで移住支援が可能となる「総社移住・創業サポートセンター（S-スタ）」の開設準備を進めました。 ・総社市の空き家情報、ハウスメーカーや地元工務店の不動産情報を提供しています。 ・子育て支援イベントとして、令和2年10月オンラインによる「こども論語塾」を開催し、小学生に参加していただきました。 ・年金、資産運用、終活に関するニーズに対して、一人ひとりにあった相談に対応出来る人材育成（就活カウンセラー資格等の取得）に力を入れ、各種相談業務を積極的に行いました。 ・「お客様ご意見箱」をATMコーナーに設置し、お客様の声を収集し、金庫経営に反映させています。
4. 内部管理態勢の強化		
(1) ガバナンスの強化	・総代会、総代懇談会によるガバナンス機能を強化します。 ・お客さまのご意見によるガバナンス向上に努めます。 ・経営内容の開示により外部からのガバナンスを強化します。	・総代懇談会が中止となり、役員が総代の生の声を聞くために個別訪問し、金庫経営に役立てるよう努めました。 ・日頃の営業活動の中で、一般会員からのご意見を聞くため、「お客様の声・意見報告書」のほか、営業店に「何でも相談窓口」を設けており、役員、営業店長、渉外係が取引先から収集したご意見やご要望については、役員会で取り上げて審議しています。 ・令和2年度もCSアンケートを実施し、お客さまから「きびしん」に期待すること、今後の要望等の回答を頂き、改善に取組みました。
(2) コンプライアンス態勢の強化	・「コンプライアンス・プログラム」を厳格に実施し、役職員のコンプライアンス意識の醸成を図ります。 ・苦情や業務上のミス等の再発防止に向けた取組みを強化します。 ・金融商品取引法施行に伴う顧客への説明態勢の強化を図ります。 ・反社会的勢力との関係遮断に係る態勢の強化を図ります。	・毎年「コンプライアンス・プログラム実施計画」を策定し、法令等遵守態勢の強化を図っています。 ・総務部コンプライアンス統括室を置き、各部門のコンプライアンス状況把握・指導のため、臨店を行っています。 ・苦情は、総務部コンプライアンス統括室が取りまとめ、主管部署で問題点を分析し対応策を協議するなど再発防止に役立てています。 ・「金融商品に係る勧誘方針」、「顧客勧誘説明管理要領」、「説明マニュアル」等を制定し、顧客保護管理態勢の強化を図っています。 ・「反社会的勢力に対する基本方針」、「反社会的勢力対応規程」、「反社会的勢力対応マニュアル」を制定し、反社会的勢力との関係を遮断し排除する態勢の強化を図っています。
(3) リスク管理態勢の強化	・信用リスク、市場リスク管理態勢の充実を図ります。 ・オペレーショナル・リスクに対する管理態勢を強化します。 ・統合的リスク管理の向上を図ります。	・リスク管理の運用実態に沿った規程等の整備を図っています。 ・問題債権や大口与信先など定期的に業況等を把握し、毎月開催される「ALM委員会」及び「リスク管理委員会」で状況の報告を行っています。 ・「ポジション枠」、「リスク・リミット」、「損失限度額」を設定し管理しています。 ・金利リスク量をコントロールする態勢を強化しています。 ・事務リスクの重大性を認識し、リスクを軽減するため、「事務ミス報告」を活用し、営業店への事務指導を強化し、内部管理態勢の強化を図っています。 ・臨店監査及び苦情で明らかになった不備・不適事項等について改善・指導を行っています。
(4) 人材の確保及び育成	・多様化、高度化しているお客様のニーズにお応えできる職員の育成に努めます。	・庫内研修に加え中国地区信用金庫協会等が主催する研修に職員を派遣し、コンサルティング能力、事業性評価と目利き力の強化等に努めています。

地域密着型金融の取組み

〈地域密着型金融の取組みに関する基本方針〉

お客さまとともに課題を解決する付加価値の高い金融サービス（課題解決型金融）の提供を通じて、お客さま満足度の高い金融機関を目指します。また、フェイス・トゥ・フェイスのお客さまとの密接なリレーションを通じた、担保・保証に依存しない融資の推進を基本とし、融資を通じた地域貢献を図ります。

〈中小企業の経営支援及び地域の活性化のための取組み〉

当金庫は、中小企業の経営力強化支援法に基づく認定経営革新等支援機関として、また、地域を支えるホームドクターとしての役割を担う信用金庫人を育てるとともに、関連機関と連携しながら、課題解決型金融に積極的に取組み、地域社会の活性化、中小企業の再生、支援、金融円滑化等に積極的に取り組んでいます。

〈金融仲介機能のベンチマーク〉

当金庫は、「金融仲介機能のベンチマーク」をお取引先支援のための重要指標と位置付けることにより、金融仲介機能を高め、お取引先の発展・成長に向けた課題解決や経営改善支援に積極的に取り組んでいます。

2021年3月末時点で当金庫をメインバンクとしてご利用いただいているお取引先企業は 711 先であり、融資や本業支援などさまざまな取組みによって経営課題の解決の支援に努め、251 先(35.30%)のメイン先で経営指標等が改善しました。



「金融仲介機能のベンチマーク」に対する項目

当金庫メイン取引先数と全取引先に占める割合



	2021年3月末	2020年3月末	2019年3月末
A 全取引先数	956 先	867 先	868 先
B 当金庫メイン取引先 (単体)	711 先	671 先	638 先
割合 (B/A)	74.37%	77.39%	73.50%

経営指標等が改善した先



	2021年3月末	2020年3月末
メイン先	711 先	671 先
メイン先の融資残高	24,170 百万円	25,075 百万円
経営指標等が改善した先	251 先	240 先

	2021年3月末	2020年3月末	2019年3月末
経営指標等が改善したメイン先にかかる3年間の事業年度末の融資残高の推移	9,637 百万円	8,656 百万円	8,841 百万円

●メイン先…当金庫の融資残高が1番多い先 ●主な経営指標…売上高、当期純利益、就業者数等の増減

地域密着型金融の取組み

本業支援

本部に事業支援室を設置し、営業店には事業相談担当を配置して、お客さまの経営をサポートする体制を図っています。

お客さまの課題の理解を深め、お客さまとともに解決していく地域密着型金融を目指し、外部専門家と連携して、企業価値を高めるコンサルティング活動を行うなど、直接、間接的にお客さまの経営改善支援に取り組んでいます。

	2020年度	2019年度
外部専門家を活用して本業支援を行った取引先数	46 先	45 先

ベンチマーク

2020年度	研修回数	参加者数
取引先の本業支援に関連する研修等の実施数、研修等への参加者数	8 回	201 名

ベンチマーク



〈ライフステージに応じた取引先企業の支援強化〉

ライフステージに応じた取引先企業のニーズに対応し、迅速かつ有効な融資商品の開発及び提供に努めています。

ライフステージ別の与信先数及び融資額

ベンチマーク

	創業期	成長期	安定期	低迷期	再生期
与信先数	107 先	287 先	470 先	39 先	53 先
融資残高	3,039 百万円	6,930 百万円	16,510 百万円	1,151 百万円	2,250 百万円

(2021年3月31日現在)

地域密着型金融の取組み

〈創業支援〉

創業支援については、地元商工会議所・商工会等の外部専門機関と連携し、夢の実現を応援しています。2020年度は22先のお取引先企業の創業、第二創業支援に取組みました。

当金庫が関与した創業、第二創業の件数

	2021年3月	2020年3月
当金庫が関与した創業件数	20 件	21 件
当金庫が関与した第二創業件数	2 件	2 件

ベンチ
マーク

(2021年3月31日現在)

きびしん地域振興支援制度の取組み ～吉備の新風～

新規創業・第二創業者を応援します。

吉備の新風とは、地域振興に役立つ事業を支援することを目的に、地域に新たな風を吹き込む起業家・新規事業者を毎年募集し、優れた事業者に対して表彰し助成する制度です。

2020 年度受賞者

タムラ

総合建設業

倉敷市真備町筋田 864-3
090-9733-1214

カフェアンドダイニング グリッター

飲食業

倉敷市真備町有井 94
086-441-8073

nail salon lit

ネイルサロン

倉敷市真備町辻田 867-2
080-3872-9740

山崎洋瓦工業所

瓦工業所

倉敷市真備町有井 1478-1
086-698-0230



真備緑工

造園業

倉敷市真備町筋田 4162-16
080-6800-0778

パティスリー&ブーランジェリー杏

洋菓子 製造販売

総社市中央 6 丁目 10-106
0866-33-9022

K LABO

矯正歯科技工士

岡山市北区一宮 546-5
090-7502-8694

株式会社 MIERU

福祉用具レンタル販売

岡山市北区芳賀 5115-78
080-1632-1827

takizaki labo

矯正歯科技工士

総社市東阿曾 1800-3
080-2931-4701

株式会社勇勝運輸

運送業

倉敷市真備町有井 94
086-454-9782

特定非営利活動法人かなぎ

まちづくり旅館業

総社市三須 796
080-1241-8193

JIV 株式会社

人材紹介業

総社市駅前 1 丁目 3-6
0866-37-5415

株式会社 Step up

保育園

岡山市北区今 8 丁目 12-25
086-236-8989

喫茶 心温

はり・きゅう・酵素ボックスいつつのか

飲食業・療術業
総社市駅前 1 丁目 2-1
090-4803-9354



〈スマイルテラス〉

地域社会・地域経済のさらなる発展を願い、地元のお店や企業の皆様のご紹介とともに、地域の魅力を発信しています。



〈事業性評価に基づく事業内容に適した融資〉

お取引先企業の事業内容を十分理解するための対話を行い、事業内容に適した融資に引き続き取り組んでいます。

事業性評価に基づく融資の状況

	先数	融資残高
事業性評価に基づく融資を行っている与信先数及び融資残高	443 先	10,244 百万円
上記計数の全与信先数及び当該与信先の融資残高に占める割合	46.34%	34.28%

ベンチマーク

(2021 年 3 月 31 日現在)

事業性評価…お取引先企業の財務データや担保・保証に捉われず、取引先企業との対話を通じて事業の内容や成長の可能性などを適切に評価することを言います。

〈コンサルティング〉

お取引先企業が抱える課題に対して、外部専門家、外部機関等と連携することで、幅広いソリューションを提案しています。

		2020 年度	2019 年度
ソリューション提案件数		721 件	235 件
人に関する課題	人手不足	24 件	20 件
	従業員教育	4 件	8 件
	就業規則	8 件	9 件
	後継者不在・事業継承	23 件	28 件
物に関する課題	設備導入	83 件	23 件
	新商品・サービスの企画・開発	13 件	7 件
	販売促進・販路拡大	71 件	34 件
	IT 機器の導入	8 件	1 件
財務に関する課題	資金繰り改善	169 件	28 件
	収益性改善	12 件	12 件
その他経営全般の課題	事業計画	10 件	12 件
	その他	296 件	53 件

独自ベンチマーク

ソリューション提案件数…お取引先企業の経営者が抱える経営上の課題を抽出し、「事業者向け提案シート」を活用し庫内で共有、課題解決の提案を行った件数。

〈専門家連携〉

	2020 年度	2019 年度
外部専門家を活用して本業支援を行った取引先数	46 先	45 先

ベンチマーク

〈「経営者保証に関するガイドライン」への取組み〉

当金庫では、「経営者保証に関するガイドライン」及び「事業承継時に焦点を当てた『経営者保証に関するガイドライン』の特則」の趣旨や内容を十分に踏まえ、お客さまからお借入れや保証債務整理の相談を受けた際に真摯に対応するための態勢を整備しています。また、経営者保証の必要性については、お客さまとの丁寧な対話により、法人と経営者の関係性や財務等の状況を把握し、同ガイドライン等の記載内容を踏まえて十分に検討するなど、適切な対応に努めています。

	2020 年度
新規に無保証で融資した件数	99 件
新規融資に占める経営者保証に依存しない融資の割合	11.40%
保証契約を解除した件数	1 件
経営者保証に関するガイドラインに基づく保証債務整理の成立件数（当金庫をメイン金融機関として実施したものに限る）	0 件